

令和元年度事業報告

兵庫県防犯協会連合会（以下、県防連と表記）の事業運営につきましては、これまでと同様に公益法人関連法等を遵守し運営しており、県内54単位防犯協会による防犯ボランティア活動の支援や単位協会間の調整役としての機能の発揮に努め、各種事業を推進いたしました。

さて、我が国を取り巻く世界の情勢を見ますと、中国武漢を発生源とするコロナウィルスによる新型肺炎が世界的に発生し、日本でも中国への旅行者を中心に発生しております。また、英国のEU離脱や、米国とイラン、北朝鮮とのせめぎ合い、中国との貿易戦争といえるほどの貿易摩擦が起こっており、日本の経済面、人の動きにも影響を及ぼしているなど、国際情勢は緊迫の度合いを高めました。

国内的には、天皇陛下の御退位と新天皇の即位礼正殿の儀が厳かに行われ、祝賀パレードも国民から多くの祝福のもと行われました。一方、千葉県など関東地方で気象史上初めてと表現されるほどの豪雨や台風での被害が出たり、京都アニメーション放火殺人事件や沖縄首里城の火災、各地であおり運転や高齢ドライバーによる死亡事故の発生など社会を揺るがすような事件事故が続きました。

兵庫県内に目を転じますと、県内に拠点を置く、山口組、神戸山口組、任侠山口組の三つ巴の抗争事件が発生し、白昼や繁華街で拳銃を使用した殺人事件などが発生しました。神戸市内小学校では教員間のいじめ問題が発覚するなど、全国を揺るがすような大きな事件も発生しております。

御案内のとおり、刑法犯の認知件数が近年減少傾向を示し低い水準で推移しておりますが、個々を見ても若者の大麻事案が増加し将来を背負う青少年への浸透が危惧されています。また、警察の取締りや各種啓発活動にも関わらず、オレオレ詐欺、還付金詐欺に代表されるいわゆる特殊詐欺被害が後を絶ちません。被害者は高齢者を中心としたもので、地域社会としても守っていかなければならない方々です。

防犯協会は地域の「安全・安心」のために地域住民に密着した地道な防犯ボランティア活動を行っており、防犯協会の重要性は一層増していると考えるところではありますが、資金面での逼迫、構成員の高齢化など人材面でも厳しい状況があります。

このような状況の中、県防連では、令和元年度も犯罪被害の減少と、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、引き続き「みんなで作ろう安心のまち」をスローガンとして、

- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進

- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション・防犯設備優良住宅認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、関係機関・団体等と連携・協働しながら、下記のとおり各種事業を推進しました。

記

第1 定例会の開催

1 第23回理事会

令和元年6月3日、兵庫県民会館において、来賓に千代延参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催し、平成30年度事業報告、平成30年度収支決算報告、第12回定時総会日程、正会費額の見直し、賛助会員の入会について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、事務局長の採用、理事及び監事候補者の選任案、会長感謝状の贈呈について報告しました。

2 第12回定時総会

令和元年6月18日、兵庫県民会館において、来賓に岡田生活安全部長をお迎えして開催し、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、理事及び監事の選任、正会費額の見直しについて審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、令和元年度事業計画、令和元年度予算、事務局長の採用及び新単位協会会長の就任について報告しました。

3 第24回理事会

令和元年6月18日第12回定時総会后、兵庫県民会館において、会長、副会長及び専務理事の選定の件について審議され、原案どおり承認されました。

4 第25回理事会(みなし決議)

令和2年3月6日開催としていた理事会は、新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため開催を中止とし、一般法人法、公益社団法人兵庫県防犯協会連合会定款に基づき「みなし決議」としました。令和元年度補正予算案、令和2年度事業計画案、令和2年度予算案等について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、①会長、副会長及び専務理事の職務執行状況、②第26回理事会及び第13回定時総会の開催日程、③警察署等の再編整備計画案、④「公益法人検査」結果と改善報告を行いました。

5 令和元年防犯功労者等表彰式

令和元年6月18日午後3時から、兵庫県民会館において、来賓に生^{いくやす}安県民生活局長、大角兵庫県地域安全課長、岡田兵庫県警察生活安全部長、西嶋少年課長等をお迎えして開催しました。

武内県防連会長の挨拶、生 ^{いくやす} 安 県民生活局長の御祝辞の後、下記の皆様に対して表彰状の授与及び感謝状の贈呈を行いました。

- ① 優良防犯団体表彰：灘防犯協会桜口支部 以下16団体
- ② 善行青少年団体表彰：セキスイハイム山陽株式会社、淡路市立北淡路小学校児童会
- ③ 善行青少年個人表彰：淡路防犯協会 井高空翔
- ④ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会 川上 始 以下74名
- ⑤ 防犯功労警察官感謝状：警察本部少年課 本田慎治 以下15名

合計18団体90名

6 防犯協会職員研修会及び意見交換会

令和2年1月22日午後2時から、兵庫県民会館において、武内会長出席の下、県下単位防犯協会職員に対する研修会を開催しました。

地区防犯協会の事務職員相互に連携強化を図り、お互いに助言や協力を得られる雰囲気を醸成することを目的として、新たに着任した事務局職員の自己紹介と質疑応答を行い、その親睦、融和と平素の疑問点等の解消に努めました。

なお、研修会終了後、会長の参加を頂き、単位防犯協会職員有志、県防連職員による懇親会を開催しました。平素接触することのない会長と単位協会の職員が親睦を深めるとともに、職員同士もお互いに平素の業務に係る悩み等について意見交換を行うなど、有意義な時間を持つことができました。

第2 事業概要

1 県防連事務局の自主事業

(1) 防犯ポスター・防犯標語コンクールの実施

令和元年6月13日、兵庫県民会館において、兵庫県警察生活安全企画課担当者、兵庫県地域安全課担当者、県防連専務理事等を審査委員として実施しました。

結果は下表のとおりです。

テーマ	防犯ポスターの部		防犯標語の部	
	応募総数	全防連推薦数	応募総数	全防連推薦数
子ども・女性の犯罪被害防止	24	5	198	7
暴力団排除の徹底	24	5	98	6
計	48	10	296	13
参考事項	県防連では、テーマごとに最優秀1点、優秀2点、佳作3点を選出し、会長名で表彰しました。			

(2) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進（収益事業）

県防連は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づき、兵庫県公安委員会から「兵庫県風俗環境浄化協会」として指定され、警察本部長からの業務委託を受けて、下の「ア業種別現地調査件数の状況」のとおり、風俗営業に係る新規許可申請及び構造変更承認申請に伴う現地調査業務を合計161件実施しました。

また、風俗営業管理者に対する法定講習につきましては、令和元年度に「イ風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数の状況」のとおり、計8回、計387人に対して実施し、管理者の管理能力の向上と遵法意識の高揚に努めました。

なお、上記講習は業種ごとに概ね3年に1度実施しており、令和元年度は4号営業(麻雀、パチンコ)を対象として実施しました。

受講者に対しては、法定の講習内容に加えて、現下の犯罪情勢、暴力団情勢の説明と暴力団排除機運の醸成、特殊詐欺の被害防止等について講話するなどして、県下の犯罪等の抑止のための広報・啓発に努めました。

ア 業種別現地調査件数の状況

区分	新規許可申請								構造・設備の変更承認申請							合計		
	月別	1号	2号	3号	4号		5号	特定遊興	小計	1号	2号	3号	4号		5号		特定遊興	小計
					麻雀	パチンコ							麻雀	パチンコ				
4	14	0	0	0	1	0	0	15	1	0	0	0	1	0	0	2	17	
5	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
6	7	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
7	13	0	0	0	0	0	0	13	1	0	0	0	0	0	0	1	14	
8	6	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	1	0	0	3	9	
9	8	0	0	2	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
10	10	0	0	3	1	2	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
11	11	0	0	3	0	0	0	14	0	0	0	0	1	0	0	1	15	
12	9	0	0	0	0	1	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
1	13	0	0	1	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
2	11	0	0	2	1	0	0	14	1	0	0	0	1	4	0	6	20	
3	11	0	0	1	0	0	0	12	1	0	0	0	6	0	0	7	19	
合計	122	0	0	12	3	3	1	141	6	0	0	0	10	4	0	20	161	

イ 風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数(○数字)の状況

月別	1号営業	2号営業	3号営業	4号		5号営業	特定遊興	計
				麻雀	パチンコ			
4	0	0	0	0	0	0	0	—
5	0	0	0	0	0	0	0	—
6	0	0	0	0	70	0	0	① 70
7	0	0	0	0	61	0	0	① 61
8	0	0	0	0	65	0	0	① 65
9	0	0	0	0	43	0	0	① 43
10	0	0	0	44	0	0	0	① 44

11	0	0	0	24	0	0	0	① 24
12	0	0	0	33	0	0	0	① 33
1	0	0	0	47	0	0	0	① 47
2	0	0	0	0	0	0	0	—
3	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	0	148	239	0	0	⑧ 387

(3) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、「地域安全まちづくり条例」（平成18年兵庫県条例第3号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」に認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度として、平成19年度に運用を開始し、令和元年度末までに計126件を認定しています。その進捗状況は下表のとおりです。

* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	19～26	27	28	29	30	令和元年度	計
申請件数	111	7	6	3	1	4	132
認定件数	100	7	7	5	6	1	126

注) 申請年度と認定年度は建設期間があるため合致しません。

(4) 兵庫県防犯設備優良住宅認定制度事業

本事業は、兵庫県防犯優良マンション認定制度に準ずるものとして、「地域安全まちづくり条例」及び「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、兵庫県防犯優良マンション認定制度の対象外である戸建て住宅等を対象として、防犯優良建物部品等を取り入れるなど必要な防犯対策を施した住宅を「防犯設備優良住宅」として認定し、防犯性能に優れた住宅を提供する制度として、平成29年6月12日から運用を開始しましたが、令和元年度末では計4件の認定に止まっています。

* 認定実施機関

- ① N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ② 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

(5) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成23年度にNPO法人兵庫県防犯設備協会との合同事業としてスタートした事

業ですが、25年度以降の申請はありません。

(6) 第32回兵庫県警察少年柔道・剣道大会の開催

令和元年8月6日、兵遊協福祉基金及び(一財)武井スポーツ育英会からの寄附金を活用し、グリーンアリーナ神戸において、柔道22チーム計138人、剣道43チームの計285人、合計423人の選手が出場し、保護者ら延べ約2,000人の観衆の中、熱戦が繰り広げられ、大きな応援と拍手が送られました。結果は次表のとおりです。

区分	優勝	準優勝	第3位		敢闘賞
柔道	社柔道少年団	兵庫少年こだま会柔道部	西宮柔道	姫路中央柔道教室	長田柔道会、伊丹柔道協会、須磨柔講館、宝塚正道館
剣道	葺合少年剣友会	妙法寺少年剣道クラブ	尼崎南署チーム	三田市剣道協会	白川台少年剣修会、芦屋剣道協会、あぼし剣友会、朝来署チーム

(7) 企業対象の情報セキュリティセミナーの共同開催

県警サイバー犯罪対策課では、平成26年度から開催している企業対象の情報セキュリティセミナーを令和元年度も開催し、県防連としては賛助会員企業への開催案内を发出了しました。警察本部担当者からサイバー犯罪の現状について説明が行われたほか、セキュリティ専門家による講演等を通じて、情報セキュリティ対策の普及啓発に努めました。

(8) 地域安全運動プレイベントの開催支援

令和元年10月11日から10日間実施された「全国地域安全運動」のプレイベントとして、10月6日「ららぽーと甲子園」において、全国地域安全運動の啓発イベントを開催しました。当日は、県警生活安全部・県民広報課県警音楽隊・甲子園警察署・県地域安全課と県防連が協働して開催し、ゲストにNHK Eテレ「フックブックロー」歌のお兄さんタニケンこと谷本賢一郎さんをお迎えし、歌で広報啓発活動を行い地域安全運動の浸透と防犯活動の必要性を訴えるとともに、防犯意識の高揚に努めました。

(9) 特殊詐欺被害防止啓発ポスターの作成配布

警察本部生活安全企画課と連携して、プロ野球ジャイアンツ監督原辰徳氏を起用した特殊詐欺被害防止の啓発ポスターを作成し、県下単位協会へ配布して被害防止の意識を高めました。

(10) 防犯カメラの設置促進

犯罪発生後の被疑者検挙のみならず、犯罪抑止力としても大きな力を発揮している防犯カメラの有用性は論を俟たず、令和元年度においても兵庫県から500台

分、神戸市を始め他の自治体においても防犯カメラ設置補助金が交付され設置を推進し、自主事業としての防犯カメラの設置が進められております。県民、市民の安全確保と安心感の提供のために、今後とも各自治体による積極的な支援が継続されることを期待するところであります。

なお県防連専務理事は、兵庫県の防犯カメラ選定審査委員となっており、防犯カメラの適正な設置場所の選定等に関して助言等に努めました。

(11) ひょうごふれあいランニングパトロールへの協賛

地域防犯パトロール推進プロジェクトとして、平成30年4月に、兵庫県警察本部、アシックス、神戸新聞社が主体となって「ひょうごふれあいランニングパトロール」が発足しました。同活動は、自主的なランニングを通じて、地域の安全・安心を見守るボランティア活動です。その趣旨に賛同し県防連、神戸防犯協会ともに活動を支援しました。令和元年度の活動内容等は、登録ランナー322人、パトロール回数366回、参加延べ人数3,824人、総走行距離2,038kmでした。

(12) 学生ボランティア活動支援

7月「近畿ブロック防犯ボランティアフォーラム」、10月「ひょうご防犯ボランティア交流会」に学生ボランティアも参加し活動の支援を行いました。

(13) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等支援

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行等

- ① 機関誌「愛のともしび」(年1回計20,000部)
- ② 防犯啓発ポケットティッシュ(46,500個)
- ③ 金融機関への犯罪防止啓発小冊子「金融機関の防犯」(5,000冊)
- ④ 少年補導員広報紙「みちびき」(11,664冊)
- ⑤ 非行防止のための劇団「麦の穂」結成20周年の記念行事として、記念公演支援と記念ボールペン(150本)を作成等

イ 少年の健全育成事業「立ち直り」支援事業への支援

警察本部少年課と連携し、少年らの立ち直りを図ることを目的とした支援活動として、フットサル、農作業などの機会を与える活動支援を行ったほか、ゲーム依存などの依存症対策として病院とも連携し、受診した際の初診料を支援するなど関係機関との連携を図りました。

(14) 薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の支援

違法銃器根絶・薬物乱用の防止に向けた広報啓発用ボールペン(1,000本)を警察本部薬物銃器対策課とともに作成し街頭キャンペーン等で活用しました。

(15) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成26年度に購入した「まもりちゃん」の着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与しており、各種行事、キャンペーン等で活用されており、警察と市民の架け橋役

として有効に活用されています。現時点での着ぐるみの破損等はありません。

(16) 関係機関・団体との連携

令和元年度も例年どおり、県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課及び警察本部組織対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年課、サイバー犯罪対策課並びに防犯関連の各種団体・機関と連携し防犯活動に当たりました。

(17) 近年の賛助会員年度別入会状況

(金額の単位：万円)

年度	27	28	29	30	令和元年度
入会数	4	3	4	7	1
金額	27	3	5	11	1

2 単位防犯協会との共同事業等

(1) 組織の整備と活動の活性化

ア 単位防犯協会支部等の活動

各単位防犯協会においては、各支部長を中心として、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

県防連では、本活動を支援するため、「ラジオ関西」のスポット放送(90秒)として「防犯一言コメント」を月6本、年間72本を流しています。

イ 防犯連絡所

防犯連絡所は、警察と地域住民とのパイプ役となるために昭和31年に全国的に組織された歴史ある組織ですが、「地域ふれあいの会」、「警察署協議会」「110番の家」などの同趣旨の組織が発足し、最近の社会情勢からも役割が縮小してきております。全国的な組織である反面、地域に根差したもので地域間格差も顕著な状況があります。県下一律に現行の防犯連絡所の制度が必要であるかは検討の余地があります。県下だけではなく全国的な問題であり、現時点では現状の推移を見守っていくのが妥当と判断しております。

ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員2,666名が、子どもの登下校時における見守り活動並びに有害広告物の除去や青少年健全育成を目的に、年間を通じて街頭補導活動を実施しました。

また、令和元年7月2日、兵庫県民会館において少年補導功労者・同団体に対する表彰式を開催し、計12名、4団体に対して兵庫県少年補導員連絡協議会

会長表彰を授与しました。

エ 兵庫県教育委員会主宰の「トライやる・ウィーク」については、県防連単独での対応はないものの、関係機関、警察署への支援は単位協会が対応しています。

(2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

ア 自主防犯意識の高揚

侵入犯罪やひったくり等の街頭犯罪、オレオレ詐欺、還付金詐欺を始めとするいわゆる特殊詐欺被害の防止を図るため、各単位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策等の情報を発信して自主防犯意識の高揚に努めました。

イ 令和元年地域安全運動兵庫県民大会の共同開催

令和元年10月11日、兵庫県公館において、参加者約500人の中、県知事、県警察本部長等の御臨席を得て県民大会を開催しました。

主催者である会長等の挨拶・来賓紹介に続き、(公財)全国防犯協会連合会金章4名、同銀章8名、同銅章23名、同団体表彰1団体、近畿防犯協会連絡協議会表彰14名及び同団体表彰2団体に対して表彰の伝達、授与が行われました。

各種表彰の後、県議会議長、公安委員長の祝辞、最後に、須磨防犯協会副会長中島康伸さんが代表して「人とのつながりや関係機関との連携を大切にし、犯罪の起きにくい社会づくりに向けて地域ぐるみで取り組む。」旨の大会宣言をもって第1部を締めくくり、第2部は、姫路獨協大学副学長道谷卓さんによる防犯講話「犯罪学から見た地域防犯活動」の講演がありました。

(3) 暴力団追放運動の推進

令和元年11月8日、神戸文化ホールにおいて開催された「第28回暴力団追放兵庫県民大会」には、瀬戸内沿線を中心に県下の単位防犯協会長を始め、多数の協会の参加をいただき、兵庫県民の暴力団追放意識の高揚に努めました。

令和元年度決算報告

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
I	資産の部								
	1 流動資産								
	現金預金		15,605,596			16,287,970			-682,374
	未収金		381,631			150,522			231,109
	流動資産合計		15,987,227			16,438,492			-451,265
	2 固定資産								
	(1) 特定資産								
	退職給付引当金預金		717,836			346,835			371,001
	特定資産合計		717,836			346,835			371,001
	(2) その他の固定資産								
	什器備品		6			81,724			-81,718
	投資有価証券		3,000,000			3,000,000			0
	その他の固定資産合計		3,000,006			3,081,724			-81,718
	固定資産合計		3,717,842			3,428,559			289,283
	資産合計		19,705,069			19,867,051			-161,982
II	負債の部								
	1 流動負債								
	未払金		3,110			149,086			-145,976
	預り金		424,103			589,937			-165,834
	流動負債合計		427,213			739,023			-311,810
	2 固定負債								
	退職給付引当金		717,836			346,835			371,001
	固定負債合計		717,836			346,835			371,001
	負債合計		1,145,049			1,085,858			59,191
III	正味財産の部								
	1 指定正味財産		0			0			0
	2 一般正味財産		18,560,020			18,781,193			-221,173
	(うち特定資産への充当額)		(717,836)			(346,835)			(371,001)
	正味財産合計		18,560,020			18,781,193			-221,173
	負債及び正味財産合計		19,705,069			19,867,051			-161,982

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 資産の部										
1 流動資産										
現金預金	2,779,236	629,059		3,408,295		10,935,253		10,935,253	1,262,048	15,605,596
未収金	40,000			40,000		191,631		191,631	150,000	381,631
流動資産合計	2,819,236	629,059	0	3,448,295	0	11,126,884	0	11,126,884	1,412,048	15,987,227
2 固定資産										
(1) 特定資産										
退職給付引当金預金	366,742	72,286		439,028	68,769	66,329		135,098	143,710	717,836
特定資産合計	366,742	72,286	0	439,028	68,769	66,329	0	135,098	143,710	717,836
(2) その他固定資産										
什器備品	2	1		3	1	1		2	1	6
投資有価証券	3,000,000			3,000,000				0		3,000,000
その他の固定資産合計	3,000,002	1	0	3,000,003	1	1	0	2	1	3,000,006
固定資産合計	3,366,744	72,287	0	3,439,031	68,770	66,330	0	135,100	143,711	3,717,842
資産合計	6,185,980	701,346	0	6,887,326	68,770	11,193,214	0	11,261,984	1,555,759	19,705,069
II 負債の部										
1 流動負債										
未払金		3,110		3,110				0		3,110
預り金	173,460			173,460				0	250,643	424,103
流動負債合計	173,460	3,110	0	176,570	0	0	0	0	250,643	427,213
2 固定負債										
退職給付引当金	366,742	72,286		439,028	68,769	66,329		135,098	143,710	717,836
固定負債合計	366,742	72,286	0	439,028	68,769	66,329	0	135,098	143,710	717,836
負債合計	540,202	75,396	0	615,598	68,769	66,329	0	135,098	394,353	1,145,049
III 正味財産の部										
1 指定正味財産				0				0		0
2 一般正味財産 (うち特定資産への 充当額)	5,645,778 (366,742)	625,950 (72,286)		6,271,728 (439,028)	1 (68,769)	11,126,885 (66,329)		11,126,886 (135,098)	1,161,406 (143,710)	18,560,020 (717,836)
正味財産合計	5,645,778	625,950	0	6,271,728	1	11,126,885	0	11,126,886	1,161,406	18,560,020
負債及び正味財産合計	6,185,980	701,346	0	6,887,326	68,770	11,193,214	0	11,261,984	1,555,759	19,705,069

正味財産増減計算書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,422,000	3,422,000	0
賛助会員受取会費	5,440,000	5,420,000	20,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	322,160	189,000	133,160
風俗環境浄化受託事業収益	2,710,122	2,320,052	390,070
認証シール事業収益	5,390,000	5,615,000	-225,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,120,000	3,120,000	0
少年補導員受託収益	4,397,496	4,300,776	96,720
受取民間補助金	800,000	0	800,000
受取寄付金			
受取寄付金	2,800,000	5,204,000	-2,404,000
雑収入			
受取利息	141	148	-7
有価証券利息	16,800	16,800	0
雑収入	0	165,000	-165,000
経常収益計	28,418,719	29,772,776	-1,354,057
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	12,986,484	12,678,210	308,274
退職給付費用	656,000	653,000	3,000
福利厚生費	2,149,610	2,144,488	5,122
旅費交通費	273,520	408,300	-134,780
通信運搬費	671,649	642,032	29,617
減価償却費	81,718	82,919	-1,201
消耗品費	318,690	350,056	-31,366
印刷製本費	767,600	1,111,104	-343,504
光熱水料費	655,646	688,144	-32,498
賃借料	688,545	708,441	-19,896
保険料	963,037	976,302	-13,265
諸謝金	170,420	57,480	112,940
租税公課	266,900	585,700	-318,800
支払負担金	207,000	204,200	2,800
少年補導員活動費	1,333,000	1,333,000	0
支払寄付金	10,000	10,000	0
普及宣伝費	2,503,088	3,675,730	-1,172,642
車両運搬費	76,187	33,417	42,770
雑業費	24,766	2,484	22,282
事業費計	24,803,860	26,345,007	-1,541,147

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	999,980			999,990				-10
	退職給付費用	55,000			55,000				0
	福利厚生費	200,000			193,133				6,867
	会議費	605,769			569,099				36,670
	旅費交通費	224,492			212,990				11,502
	通信運搬費	203,858			199,994				3,864
	消耗品費	138,807			217,277				-78,470
	印刷製本費	108,798			19,580				89,218
	光熱水料費	69,000			69,000				0
	賃借料	41,000			48,000				-7,000
	諸謝金	144,972			144,972				0
	租税公課	49,400			104,300				-54,900
	負担金	852,160			859,960				-7,800
	雑費	142,796			101,206				41,590
	管理費計	3,836,032			3,794,501				41,531
	経常費用計	28,639,892			30,139,508				-1,499,616
	当期経常増減額	-221,173			-366,732				145,559
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0				0
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0				0
	当期一般正味財産増減額	-221,173			-366,732				145,559
	一般正味財産期首残高	18,781,193			19,147,925				-366,732
	一般正味財産期末残高	18,560,020			18,781,193				-221,173
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0				0
	指定財産期首残高	0			0				0
	指定正味財産期末残高	0			0				0
III	正味財産期末残高	18,560,020			18,781,193				-221,173

正味財産増減計算書内訳表

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	1,000,000			1,000,000				0	2,422,000	3,422,000
賛助会員受取会費	4,300,000	450,000		4,750,000				0	690,000	5,440,000
事業収益										
防犯優良マンション事業収益	322,160			322,160				0		322,160
風俗環境浄化受託事業収益				0	2,710,122			2,710,122		2,710,122
認証シール事業収益				0		5,390,000		5,390,000		5,390,000
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	3,000,000	120,000		3,120,000				0		3,120,000
少年補導員受託収益		4,397,496		4,397,496				0		4,397,496
受取民間補助金	200,000	600,000		800,000				0		800,000
受取寄付金										
受取寄付金	2,500,000	300,000		2,800,000				0		2,800,000
雑収入										
受取利息				0				0	141	141
有価証券利息	16,800			16,800				0		16,800
経常収益計	11,338,960	5,867,496	0	17,206,456	2,710,122	5,390,000	0	8,100,122	3,112,141	28,418,719
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	6,787,264	1,999,980		8,787,244	1,659,282	2,539,958		4,199,240		12,986,484
退職給付費用	236,000	101,000		337,000	59,000	260,000		319,000		656,000
福利厚生費	804,962	349,930		1,154,892	294,930	699,788		994,718		2,149,610
旅交通費	9,460	31,760		41,220	232,300			232,300		273,520
通信運搬費	289,171	187,401		476,572	80,695	114,382		195,077		671,649
消耗品費	50,156	31,562		81,718				0		81,718
印刷製本費	171,510	58,334		229,844	88,846	0		88,846		318,690
光熱水借料	470,677	296,923		767,600				0		767,600
賃借料	245,000	210,000		455,000	48,000	152,646		200,646		655,646
諸謝金	399,750	180,000		579,750	66,472	42,323		108,795		688,545
租税公課	170,420	963,037		963,037				0		963,037
支払補導員活動費	75,700	74,000		149,700	16,100	101,100		117,200		266,900
支払寄付伝搬費				0	64,300	142,700		207,000		207,000
支那運賃	10,000	1,333,000		1,333,000				0		1,333,000
支那運賃	2,278,284	224,804		2,503,088				0		2,503,088
雑費	0			0	76,187	756		76,187		76,187
事業費計	11,998,354	6,041,731	0	18,040,085	2,710,122	4,053,653	0	6,763,775		24,803,860
管理費										
給料手当									999,980	999,980
退職給付費用									55,000	55,000
福利厚生費									200,000	200,000
旅交通費									605,769	605,769
通信運搬費									224,492	224,492
消耗品費									203,858	203,858
印刷製本費									138,807	138,807
光熱水借料									108,798	108,798
賃借料									69,000	69,000
諸謝金									41,000	41,000
租税公課									144,972	144,972
支払補導員活動費									49,400	49,400
支払寄付伝搬費									852,160	852,160
支那運賃									142,796	142,796
管理費用計									3,836,032	3,836,032
経常費用計	11,998,354	6,041,731		18,040,085	2,710,122	4,053,653		6,763,775	3,836,032	28,639,892
当期経常増減額	-659,394	-174,235		-833,629	0	1,336,347		1,336,347	-723,891	-221,173
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計				0				0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計				0				0		0
他会計振替額	659,394	174,235		833,629						0
当期一般正味財産増減額	0	0		0	0	-833,629		-833,629	-723,891	-221,173
一般正味財産期首残高	5,645,778	625,950		6,271,728	1	10,624,167		10,624,168	1,885,297	18,781,193
一般正味財産期末残高	5,645,778	625,950		6,271,728	1	11,126,885		11,126,886	1,161,406	18,560,020
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額				0				0		0
指定正味財産期首残高				0				0		0
指定正味財産期末残高	0			0				0		0
III 正味財産期末残高	5,645,778	625,950		6,271,728	1	11,126,885		11,126,886	1,161,406	18,560,020

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
手持現金	手元保管	運転資金として	50,000
普通預金	三井住友銀行神戸公務部	運転資金として	695,211
	三井住友銀行神戸公務部	運転資金として	173,460
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運転資金として	672,195
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運転資金として	222,323
	兵庫県警察信用組合本店	運転資金として	3,096,641
	みずほ銀行神戸支店	運転資金として	10,695,766
現金預金合計			15,605,596
(2) 未収金	未収会費・環境受託収入4月分		381,631
流動資産合計			15,987,227
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		717,836
特定資産合計			717,836
(2) その他の固定資産			
什器備品	パソコン 4 台	各事業に使用	4
	シュレッダー 1 台	各事業に使用	1
	まもりちゃん着ぐるみ 1 体	公益目的事業	1
	第 398 回大阪府公募公債(10年)	公益目的事業	3,000,000
投資有価証券			3,000,006
その他の固定資産計			3,717,842
固定資産合計			19,705,069
資産合計			19,705,069
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			3,110
預り金		マンション申請料・社会保険料・所得税	424,103
流動負債合計			427,213
2 固定負債			
退職給付引当金			717,836
固定負債合計			717,836
負債合計			1,145,049
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			0
2 一般正味財産			18,560,020
(うち特定資産への充当額)			(717,836)
正味財産合計			18,560,020
負債及び正味財産合計			19,705,069

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

(3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から支出している。専務理事の引当金については規程に基づき積み立てている。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	346,835	371,001	0	717,836

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	717,836	0	371,001	717,836

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	708,589	708,585	4
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	755,999	1
計	1,664,089	1,664,083	6

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,120,000	3,120,000	0

付属明細書

1 特定資産の明細

区分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	346,835	371,001	0	717,836

2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	346,835	371,001	0	0	717,836